

若者からの意見聴取について

～ ほくりくダイアログ2024 開催報告 ～

－ 目 次 －

第1回有識者懇談会で提示した実施計画(案) ……	1
イベントの実施内容 ……	2
開催結果の概要 ……	10
ワーク結果①:北陸圏のイメージを「色」で表現 ……	11
ワーク結果②:北陸のwell-beingを分析 ……	13
ワーク結果③:10年後の北陸圏を考える ……	15
参加された若者からの感想 ……	23
参加された有識者からの総括 ……	24

令和6年11月
北陸圏広域地方計画推進室

第1回有識者懇談会で提示した実施計画（案）

■ 名 称

（仮称）若者たちが北陸のみらいを語る！
ほくりくダイアログ2024

■ 開催日時

令和6年 8月～9月上旬 14時頃～ （大学の夏休み期間）

■ 開催方法

ハイブリッド開催
・会場での集合参加を基本とし、遠方の方はWEB参加

■ 会 場

石川県(金沢市)を予定
・ハイブリッド開催を想定しているため、インターネット環境のある会場

■ 参加人数

概ね20名程度を想定(5名×4グループ)
・会場参加を基本として、WEB参加は1～2名程度

■ その他

- ✓ 計画策定に対するプレゼンスを考慮し、参加者とはワークショップ開催後も継続的に関係を保つ方策を検討
例) ワークショップ開催結果(かわら版)の送付
WSでの意見を計画に反映した事をお知らせ 等

参加者募集案内(フライヤー)

若者たちが自分たちの未来について対話しよう

参加者
募集

ほくりく ダイアログ 2024

10年後、あなたはどのように暮らしていますか？

- ▶北陸圏では、2050年そしてその先の未来を見据えながら、今後10年を目標にした「第三次北陸圏広域地方計画」を策定します。
- ▶そこで、これから持続可能な社会の担い手となる次世代のみなさんと、対話を通してビジョンやその実現方策を考えながら、具体的に実現性の高い計画を目指していきたいと考えています。

ぜひ、ご参加ください！



令和6年

9月3日(火)

11:30 ~ 16:00

会場 金沢港クルーズターミナル 2F 会議室2・セミナールーム

募集対象 北陸圏に関わりがある 学生 や 若手社会人
(北陸圏とは、「富山県」・「石川県」・「福井県」の3県を示します)

参加費 無料 <事前にお申し込みが必要です。詳しくはウラ面をご確認ください。>

主催 北陸圏広域地方計画推進室 (事務局:国土交通省 北陸地方整備局 企画部広域計画課内)

日時 令和6年 9月 3日(火)
11:30 ~ 16:00

会場 金沢港クルーズターミナル
(2F 会議室2・セミナールーム)

〒920-0332
石川県金沢市無量寺町リ-65
※当日はJR金沢駅から会場まで
送迎バスを運行します。

参加費 無料 (昼食は主催者でご用意します)

募集定員 20名程度



参加申込はこちらから
Googleフォーム

参加申込

こちらの2次元コードからお申込みフォームにアクセスして
いただき、必要事項をご記入のうえ、お申込みください。

【申込〆切】 令和6年 8月 2日 (金) 17:00

- ※1.お申込み時点では、まだご参加は確定しておりません。
- ※2.応募者多数の場合は、お申込みいただいた内容等を参考に事務局で選考させていただきます。
- ※3.ご参加の可否については、8月9日(金)を目途にメールでお知らせいたします。

プログラム

- 11:00 ~ 11:30 開場・受付開始
- 11:30 ~ 12:15 開会・広域地方計画の概要説明 など
- 12:15 ~ 13:00 ランチミーティング ~昼食しながら午後にもむけてチームビルディング~
- 13:00 ~ 14:50 グループワーク ~テーマについてグループでディスカッション~

【グループワークの内容】

- ワーク① 北陸のwell-beingを分析！ 北陸圏に対して感じるポジティブな感情・ネガティブな感情
- ワーク② 10年後の北陸圏を考える！ 10年後の自分はどのような暮らしをしているのだろうか？

- 14:50 ~ 15:50 グループワーク成果発表・全体ふりかえり
- 15:50 ~ 16:00 総括・閉会 (イベントの様子は、後日YouTubeで配信予定)

お問合せ 北陸圏広域地方計画推進室 (事務局:国土交通省 北陸地方整備局 企画部広域計画課内)

〒 950-8801 新潟県新潟市中央区美咲町1-1-1

☎ 025-280-8880(代表) ✉ hokuriku-localplan@hrr.mlit.go.jp

本計画の策定について詳しくは、

北陸圏広域地方計画

で

検索



JR金沢駅から車で約15分
高速道路 北陸自動車道 金沢西ICから約15分 金沢東ICから約15分

イベントの実施内容

■ 実施概要

若者たちで自分たちの未来について対話しよう！
ほくりくダイアログ2024

■ 名称

■ 開催日時

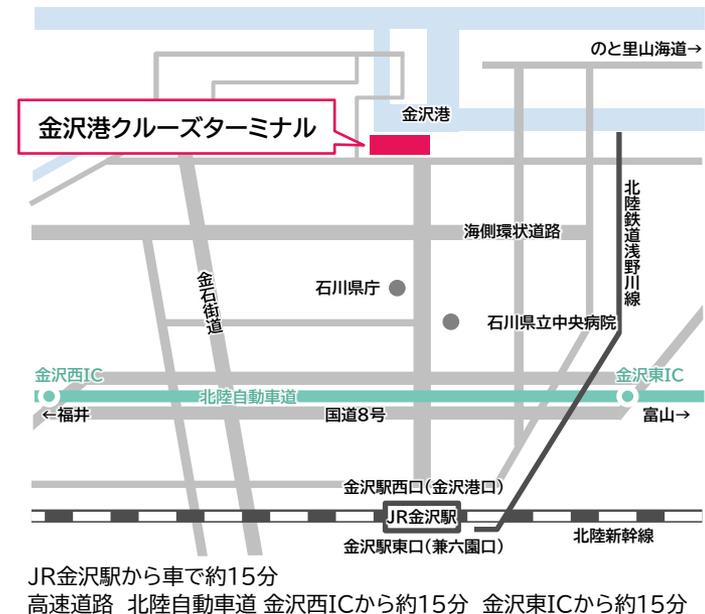
令和6年9月3日(火) 11:30 ~ 16:00

■ 開催方法

会場での集合参加による対面開催

■ 会場

金沢港クルーズターミナル
2F 会議室2・セミナールーム
(石川県金沢市無量寺町リ-65)



※当日、金沢駅⇔会場のマイクロバス(北陸地整)を運行

■ 参加人数

29名(4~6名×6グループ)

イベントの実施内容

参加者のグループ分け

※敬称略・五十音順

グループ	性別	年代	職業	出身地	在住地
A 北陸出身 圏外在住 (6名)	男性	10代	学生	富山県	神奈川県
	男性	30代	社会人	富山県	東京都
	女性	10代	学生	富山県	東京都
	男性	10代	学生	福井県	神奈川県
	女性	30代	社会人	富山県	東京都
	女性	20代	社会人	福井県	東京都

グループ	性別	年代	職業	出身地	在住地
B 北陸出身 北陸在住 (6名)	女性	20代	社会人	富山県	石川県
	男性	20代	社会人	福井県	福井県
	男性	20代	学生	石川県	富山県
	女性	20代	社会人	富山県	富山県
	女性	40代	社会人	石川県	石川県
	男性	20代	社会人	石川県	石川県

グループ	性別	年代	職業	出身地	在住地
C 北陸出身 北陸在住 (4名)	男性	20代	社会人	福井県	福井県
	女性	20代	社会人	石川県	石川県
	女性	30代	社会人	富山県	石川県
	女性	20代	学生	富山県	富山県

グループ	性別	年代	職業	出身地	在住地
D 北陸出身 北陸在住 (5名)	女性	20代	学生	石川県	石川県
	男性	30代	社会人	富山県	石川県
	女性	20代	社会人	石川県	石川県
	女性	20代	学生	福井県	山梨県
	男性	40代	社会人	富山県	石川県

グループ	性別	年代	職業	出身地	在住地
E 圏外出身 北陸在住 (4名)	男性	20代	社会人	東京都	石川県
	男性	20代	社会人	京都府	福井県
	男性	20代	社会人	千葉県	石川県
	男性	20代	学生	兵庫県	石川県

グループ	性別	年代	職業	出身地	在住地
F 圏外出身 北陸在住 (4名)	男性	30代	社会人	千葉県	石川県
	男性	20代	社会人	東京都	石川県
	男性	20代	学生	群馬県	石川県
	男性	20代	社会人	大阪府	石川県

グループA : 北陸出身・圏外在住

グループB・C・D : 北陸出身・北陸在住

グループE・F : 圏外出身・北陸在住

[性別] 男性:17名 女性:12名

[職業別] 学生: 9名 社会人:20名

イベントの実施内容

■ 有識者懇談会委員の参加者

役割	内容	担当	備考
総括	・ワークショップの総括など	高山 純一 座長	有識者懇談会座長 (公立小松大学)
コーディネーター	・ワークショップ全体の進行	水上 聡子 委員	有識者懇談会委員 (アルマス・バイオコスモス研究所)
アドバイザー	・グループワークのアドバイスなど	堀田 裕弘 委員	有識者懇談会委員 (富山大学)
		柳原 佐智子 委員	有識者懇談会委員 (富山大学)

イベントの実施内容

■ 当日のプログラム

プログラム		内 容	会場	時 間	
開場・受付		・開場・受付	会議室 2	11:00 - 11:30	30分
起	開会・導入	・挨拶、開催趣旨		11:30 - 11:35	5分
		・広域地方計画の紹介（動画、配布資料）		11:35 - 11:55	20分
		・ビジョンとゴール、プログラム紹介		11:55 - 12:15	20分
	ランチミーティング	・昼食・チームビルディング		海の食堂 BAY ARCE	12:15 - 13:00
参加の土台づくり		・参加のルールづくり ・自己紹介アイスブレイク（色ワーク1）	セミナー ルーム	13:00 - 13:20	20分
承	ワーク1 北陸のwell-beingを分析！	・北陸圏に感じるポジティブな感情、ネガティブな感情 「どんな時、どんなふうになろう？どうしてだろうか？」		13:20 - 13:50	30分
休憩（リラックス）				13:50 - 14:00	10分
転	ワーク2 well-beingの視点から、 10年後の北陸圏を考える	・ポジティブな面をさらに伸ばしていくには・・・？ ・ネガティブな面を解決していくには・・・？ ・広域地方計画に反映するアクションプラン ・10年後の自分は、どのような暮らしをしているのだろうか？		14:00 - 14:50	50分
全体シェア		・グループ別に話し合ったことを発表し、みんなで考える 「北陸圏の持続可能な道は・・・？」		14:50 - 15:30	40分
結	ふりかえり	・ふりかえりシート記入、北陸圏のイメージ再び ・本日の学びのポイントは？ ・色はどのように変化する？（色ワーク2）	15:30 - 15:45	15分	
	総括	・若者の声から明らかになったこと（有識者からの総括）	15:45 - 15:55	10分	
	閉会	・御礼・これからの展望	15:55 - 16:00	5分	

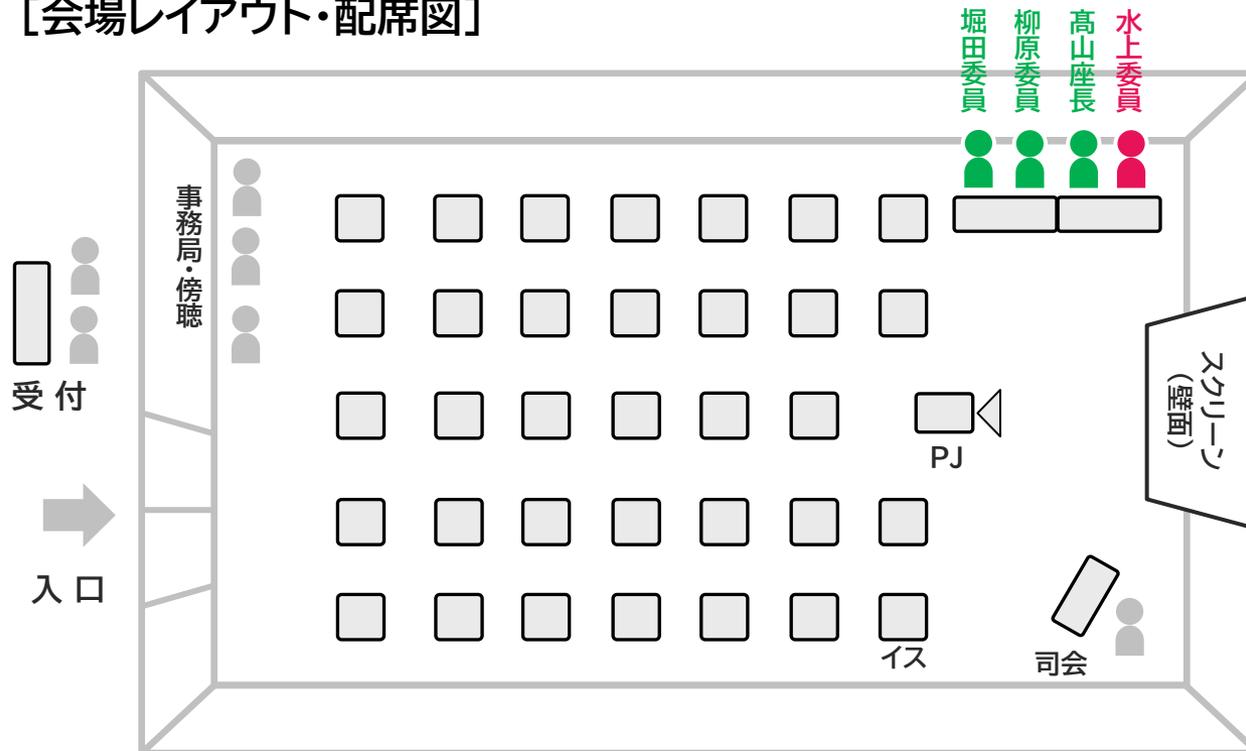
イベントの実施内容

■ プログラム①: 広域地方計画の概要説明

【会場】 会議室2

- ✓ 作成した広域地方計画を説明する動画(15分程度)を放映
- ✓ その後、本日のビジョンとゴール、プログラムなどを説明

【会場レイアウト・配席図】



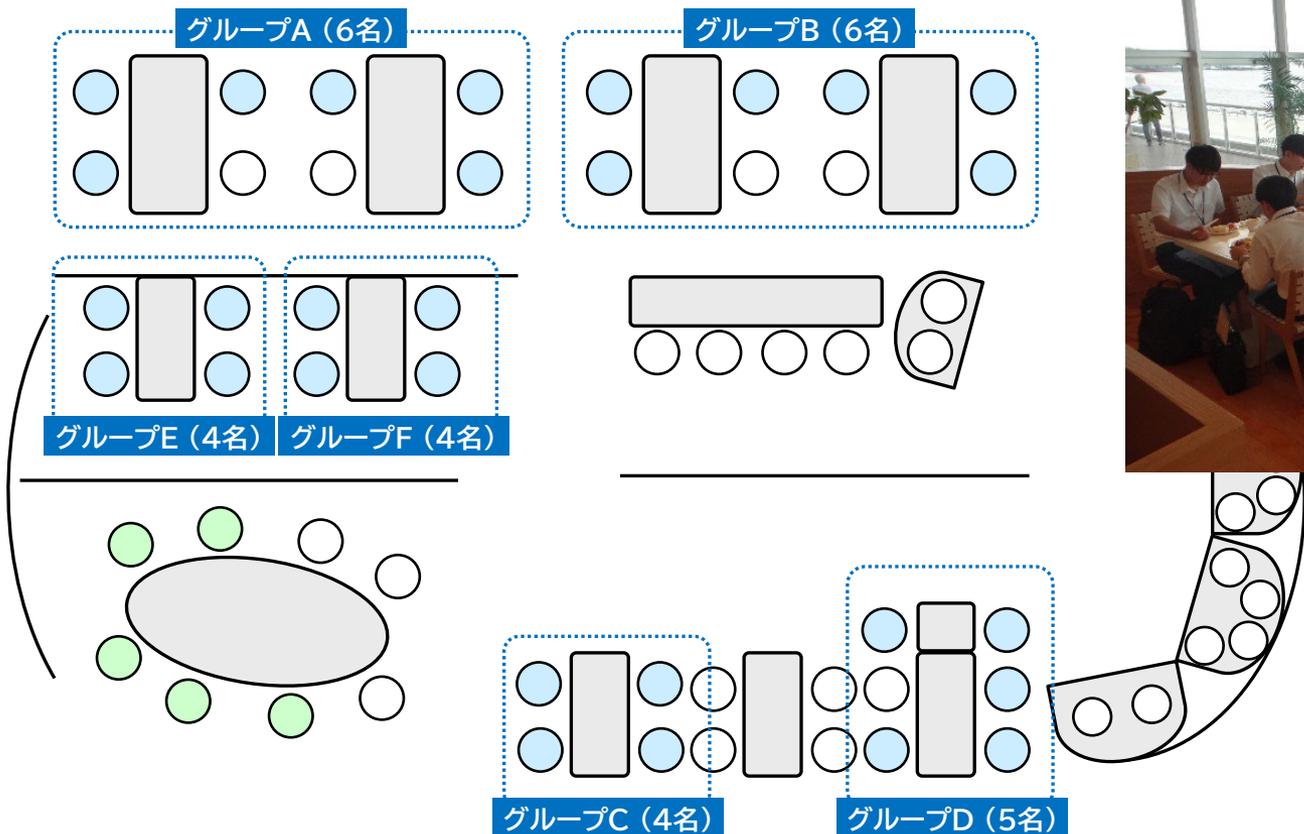
イベントの実施内容

■ プログラム②: ランチミーティング

【会場】海の食堂 BAY ARCE

- ✓ 会場内レストラン (会議室・セミナールームと同フロア) で ランチミーティング
- ✓ テーブルは午後からの ワークショップ の グループごと に着座

【会場レイアウト・配席図】

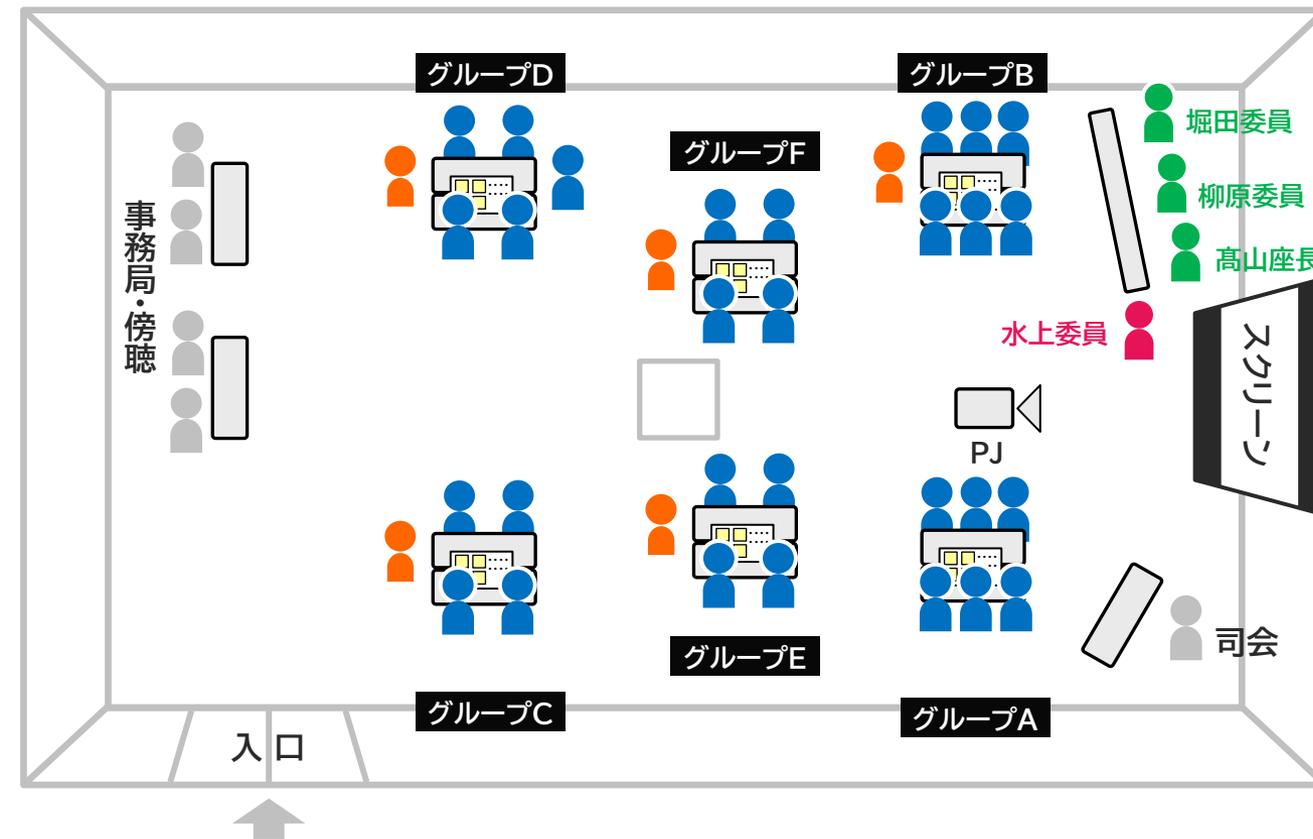


イベントの実施内容

■ プログラム③:ワークショップ

- ✓ 全体の進行・まとめ役を担当するコーディネーターは水上委員が担当
- ✓ 各グループにはファシリテーター1名が参加
- ✓ ワークショップの実施状況を撮影して、10/22(火)よりアーカイブ動画として配信

[会場レイアウト・配席図]



- コーディネーター
- コメンテーター
アドバイザー
- ファシリテーター
- 参加者(若者)

開催結果の概要

○第1回有識者懇談会の意見等をふまえた実施計画に基づき、令和6年9月3日に「ほくりくダイアログ2024」と題して、若者からの意見を聴取するワークショップを開催した。

■ほくりくダイアログ2024

[日時] 令和6年9月3日 (火) 11:30 ~ 16:00

[会場] 金沢港クルーズターミナル (金沢市)

[参加者数] 29名 (公募により集まった北陸圏に関わりのある若者)

[プログラム]

- ①開会・導入：開催趣旨、広域地方計画の紹介
- ②ランチミーティング：昼食しながらチームビルディング
- ③参加者の土台づくり：自己紹介 (北陸のイメージを「色」で説明)
- ④ワーク1：北陸のwell-beingを分析
- ⑤ワーク2：10年後の北陸圏を考える
- ⑥全体シェア：グループ別に話し合ったことを発表
- ⑦ふりかえり：話し合った結果から北陸のイメージの変化を「色」で説明



[ランチミーティング]



[コーディネーター 水上委員]



[グループワークの様子]



[参加者全員で記念撮影]



[全体シェア・発表の様子]



ワーク結果①:北陸圏のイメージを「色」で表現

■ ワークの概要

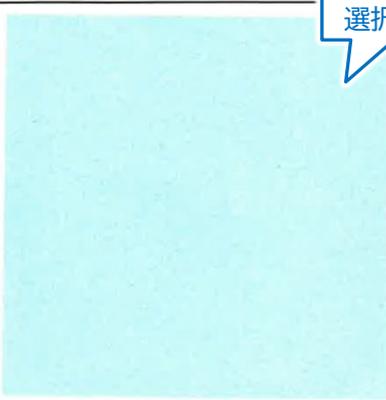
- ワークショップ開始前に北陸圏をイメージする「色」を選択してもらい、その理由を紹介してもらった。
- ワークショップ終了後に同じように「色」を選択してもらい、開始前との「色」の変化を比較した。



開始前と終了時で「色」がどのように変化するか？

〔若者が作成した実際のワークシート〕

● 自己紹介アイスブレイクシート（北陸圏のイメージを色で表し、説明してみよう。）

開始時	終了時
<p>開始前に 選択した色</p> 	<p>終了後に 選択した色</p> 
<p>説明</p> <p>北陸圏は、自然豊かで 水がおいしく空気がきれいなので 水色のイメージです。 また、冬の雪や海も関係しています。</p>	<p>説明</p> <p>今回話し合っ て出た意見を 実現し、 日月の未来が くるとも原 色に戻って 黄色のイメ ージです。</p>
<p>色を選択した理由</p>	<p>色を選択した理由</p>

ワーク結果①：北陸圏のイメージを「色」で表現

■ ワークの結果（北陸圏をイメージする「色」の変化）

- 開始前は青色や緑色など自然をイメージする色が多いほか、灰色など暗いイメージを選択していたが、終了後は黄色やオレンジなど明るい色彩を選択する若者が多い。
- これは、若者同士で対話したことで、北陸圏の魅力^①を改めて認識したほか、ポジティブな若者の存在^②を把握したことで、チャレンジや希望などのイメージ^③をもってもらえたものと考えられる。

開始前

■ 青色系 11名	■ 黄色 2名
■ 緑色系 7名	◆ その他 6名
■ 灰色 3名	

その他の内訳

紫色、金色、黒色：各1名 灰色と金色：1名
灰色と水色：1名 緑色とピンクと水色：1名

【色を選んだ理由】

- 自然が豊か ■ 日本海、川のイメージ
- 曇り、雨が多い
- 人の優しさ、あたたかさ
- 目立たない

終了後

■ 黄色 9名	■ 赤色系 4名
■ オレンジ 5名	■ 紫色 2名
□ 白色 5名	◆ その他 4名

（その他の内訳 黄緑色、金色、灰色、茶色 各1名）

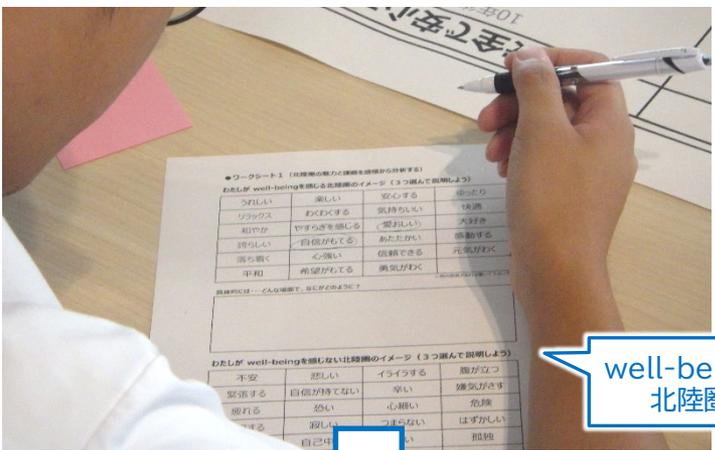
【色を選んだ理由】

- チャレンジ
- □ 希望 ■ 明るい未来
- 包み込むあたたかみ
- 何色にもなれる北陸
- 開始前は自然の青、終了後に明るい赤が混じった色

ワーク結果②:北陸のwell-beingを分析

■ワークの概要

○北陸圏に対して「**well-beingを感じる**」または「**well-beingを感じない**」イメージを、予め用意した**感情や感覚を表すワードから選択**して、その内容などを紹介してもらった。



well-beingを感じる・感じない北陸圏のイメージを選択



選択した「感覚・感情」を具体的に説明

[若者が作成した実際のワークシート]

わたしが **well-beingを感じる北陸圏** のイメージ (3つ選んで説明しよう)

うれしい	楽しい	安心する	ゆったり
リラックス	わくわくする	気持ちいい	快適
和やか	やすらぎを感じる	愛おしい	大好き
誇らしい	自信がもてる	あたたかい	感動する
落ち着く	心強い	信頼できる	元気がわか
平和	希望がもてる	勇気がわか	

感情・感覚を3つ選択

具体的には...どんな場面で、なにがどのように？

・時間の流れがゆるやかに感じられる。食事・温泉などでリラックスできる
 ・地元の人(漁師さんたち)が明るく、ふざけやか

その理由を説明

わたしが **well-beingを感じない北陸圏** のイメージ (3つ選んで説明しよう)

不安	悲しい	イライラする	腹が立つ
緊張する	自信が持てない	辛い	嫌気がさす
疲れる	怖い	心細い	危険
落胆する	寂しい	つまらない	はずかしい
誇りが持てない	自己中心	暗い	孤独
希望が持てない	きゆうくつ	がっかりする	

感情・感覚を3つ選択

具体的には...どんな場面で、なにがどのように？

・自分の居場所がない気持ちになる(東京人も富山人もない)
 ・おねにまわれないように、嫌われないように、自己開示できない(何が言われたい言えたい)

その理由を説明

ワーク結果②：北陸のwell-beingを分析

■ ワークの結果（北陸圏の魅力と課題を感情から分析）

- well-beingを感じるイメージは、あたたかい、ゆったり、落ち着くを選択する若者が多い。
- well-beingを感じないイメージは、つまらない、きゅうくつ、暗いを選択する若者が多い。

well-beingを感じる北陸圏のイメージ

※複数回答可

- ① 「あたたかい」（11名）人柄がよい。地域の結束が強い。ご近所付き合いが多い。
➢ 「あたたかい」を選択した人の他の選択：安心する、落ち着く、ゆったり、平和等
- ② 「ゆったり」（10名）都会に比べてゆったりとした時間の流れ。のんびりできる。
➢ 「ゆったり」を選択した人の他の選択：やすらぎを感じる、あたたかい、リラックス、和やか等
- ③ 「落ち着く」（9名）自然が多く、人があまりいないためリラックスでき落ち着く。
➢ 「落ち着く」を選択した人の他の選択：やすらぎを感じる、あたたかい、ゆったり、リラックス等

well-beingを感じない北陸圏のイメージ

※複数回答可

- ① 「つまらない」（13名）新しい事に挑戦できる機会は少ない。娯楽がない。
➢ 「つまらない」を選択した人の他の選択：寂しい、きゅうくつ、嫌気がさす等
- ② 「きゅうくつ」（11名）固定概念に縛られている。出る杭を打とうとする同調圧力。
➢ 「きゅうくつ」を選択した人の他の選択：つまらない、疲れる、孤独、暗い等
- ③ 「暗い」（8名）街の灯りが少ない。天気が悪い。冬が寒い。
➢ 「きゅうくつ」を選択した人の他の選択：危険、きゅうくつ、寂しい等

ワーク結果③：10年後の北陸圏を考える

■ ワークの概要

○自分が10年後にどのような暮らしを望み、それらを実現するために広域地方計画に反映してもらいたい事などを、各グループで話し合いながら提案してもらった。



提案内容を付箋に書き出し



付箋を模造紙に貼りながら提案を話し合い

【提案をまとめる模造紙】

⇒ 1～8までの指標の基づき提案してもらった。

1 自己実現できる	2 誇らしく思える	3 自分らしくいられる	4 安全で安心できる
10年後の暮らし 	10年後の暮らし 	10年後の暮らし 	10年後の暮らし 
北陸圏広域地方計画への提案 	北陸圏広域地方計画への提案 	北陸圏広域地方計画への提案 	北陸圏広域地方計画への提案 
5 楽しくわくわくできる	6 希望を持って暮らせる	7 助け合える	8 互いを尊重できる
10年後の暮らし 	10年後の暮らし 	10年後の暮らし 	10年後の暮らし 
北陸圏広域地方計画への提案 	北陸圏広域地方計画への提案 	北陸圏広域地方計画への提案 	北陸圏広域地方計画への提案 

※福井県坂井市「課題解決型地域づくりのためのwell-being8指標」をもとに作成。

ワーク結果③: 10年後の北陸圏を考える

■ ワークの結果 (各グループのワーク結果(模造紙))

グループA

● ワークシート2 (10年後の暮らしから北陸圏広域地方計画を考える) グループ A

1 自己実現できる	2 誇らしく思える	3 自分らしくいられる	4 安全で安心できる
<p>10年後の暮らし</p> <p>地元で暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>1 教育の充実 無学年制選択制</p> <p>2 リモートワークの推進</p> <p>3 様々な就職先 の用意</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>農業・漁業の 専攻のふり</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>1 1ヶ月の海外 短期 1日体験 (年代幅広く)</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>誰かを 自然体で いられる 関係性</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>1 出身世代 の心を受け 持つこと コミュニティ</p> <p>2 交流の場 (NPO・居場所)</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>1 災害レジリエ ンスの強化 と 高齢化への 対応</p> <p>2 各世代の協働 アートを 通じて 世代間の つながりを 作る</p> <p>3 互助 コミュニティ</p>
<p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>1 都会でできる 体験教育</p> <p>2 子育てが 安心できる 仕組み</p> <p>3 地元で 友達と1日中 遊ぶ</p> <p>4 自然・文化 と 自然環境 を 活かした 地域</p> <p>5 子育て 支援 (3世代 子育て支援)</p> <p>6 公共交通 機関の整備</p> <p>7 シャワー・街 の 再興</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>1 地元で暮らし</p> <p>2 大学までの 支援</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>1 子育て世代 の 見直し と 見直し</p> <p>2 異世代の 交流</p> <p>3 後世代 の 見直し と 見直し</p> <p>4 定期的な 地域 住民が 集まる 場を 作る</p> <p>5 子育て世代 の 見直し と 見直し</p> <p>6 協会の 役員 は 年齢の 層を 広げる (19歳から 20歳)</p> <p>7 地元の 若者が 構成した NGO 団体の 育成 と 活動の 促進</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>1 若い世代 の 見直し と 見直し</p> <p>2 女性 が より 活躍 する 環境 の 実現</p> <p>3 中高年の 方が 活躍 する 環境 の 実現</p> <p>4 子育て 世代 の 見直し と 見直し</p>

教 育 3 つ の 「 超 越 」 性

世 代 を 超 越 した 地 産 地 消 を

多 様

※市「課題解決型地域づくりのためのwell-being8指標」をもとに作成。

ワーク結果③: 10年後の北陸圏を考える

■ ワークの結果 (各グループのワーク結果(模造紙))

グループB

●ワークシート2 (10年後の暮らしから北陸圏広域地方計画を考える) グループ B

1 自己実現できる	2 誇らしく思える	3 自分らしくいられる	4 安全で安心できる
<p>10年後の暮らし</p> <p>新しいチャレンジができる</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>副業OK</p> <p>いい仕事ってなぞ</p> <p>シェアホステル</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>地域の伝統工芸が自慢</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>屋外からきてもらう</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>朝夕にゆったりさんぽ</p> <p>7-7ライフバランス</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>ワークライフバランスのどかな働き方の促進</p> <p>福利厚生</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>コンパクトなくらし</p> <p>将来が見える</p> <p>地元の存続</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>徒歩圏内で完結</p> <p>さらに10年後のビジョン</p> <p>インフラ、建物の復興</p>
5 楽しくわくわくできる	6 希望を持って暮らせる	7 助け合える	8 互いを尊重できる
<p>10年後の暮らし</p> <p>家族・友人が(きんど)いっしょ</p> <p>色んな場所 にアクセスしやすい</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>安心して子育てができる</p> <p>子育てに不安がない</p> <p>子育て世代</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>子育て支援の充実</p> <p>公園等施設の充実</p> <p>先輩学習者から学ぶ</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>助け合える</p> <p>外国人が居心地の良い場所</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>シェアハウス運営</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>多様な考え方を生み出し受け入れられる</p> <p>グローバル人材が育ち(活躍の場が育ち)</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>コワーキングスペース 成気の場</p> <p>多言語対応 留学支援 多言語対応 多言語対応</p>

※福井県坂井市「課題解決型地域づくりのためのwell-beingS指標」をもとに作成

ワーク結果③: 10年後の北陸圏を考える

■ ワークの結果 (各グループのワーク結果(模造紙))

グループC

● ワークシート2 (10年後の暮らしから北陸圏広域地方計画を考える) グループ C

1 自己実現できる	2 誇らしく思える	3 自分らしくいられる	4 安全で安心できる
<p>10年後の暮らし</p> <p>子育てしやすい 子育て支援の申請資格の拡大</p> <p>個人の希望のワークライフバランス</p> <p>同じく、不登校で悩む人がたくさんいる</p> <p>職業選択の自由</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>補助金の支給 補助金の活用 補助金の活用 個人事業主</p> <p>リモートワーク サテライト オフィス</p> <p>リモートワーク リモートワーク</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>職業選択の自由</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>流出抑制 → 働く場所の創出 労働環境の改善 → 補助金</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>子育て支援 企業誘致</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>補助金・給付金 融資・働き改革 友達が欲しい</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>災害の被害を最小限に抑える</p> <p>森の明かり</p> <p>孤立しない</p> <p>事前の防災販売</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>河川の氾濫や 津波の被害を 軽減するための 対策の検討 避難場所の確保 避難経路の確保 避難物資の確保 避難物資の確保</p> <p>災害の起った時に 助けあえる体制 がほしい</p>
5 楽しくわくわくできる	6 希望を持って暮らせる	7 助け合える	8 互いを尊重できる
<p>10年後の暮らし</p> <p>おいしいごはん</p> <p>買い物できる場所が欲しい</p> <p>温泉・ゴルフ</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>中心部に 集約</p> <p>中心部に 集約</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>外国人労働者の普及 外国人労働者の普及</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>外国人労働者の普及 外国人労働者の普及</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>外国人採用 民間委託</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>除雪 奉仕作業など</p>

※福井県坂井市「課題解決型地域づくりのためのwell-being指標」をもとに作成。

ワーク結果③: 10年後の北陸圏を考える

■ ワークの結果 (各グループのワーク結果(模造紙))

グループD

●ワークシート2 (10年後の暮らしから北陸圏広域地方計画を考える) グループ D

1 自己実現できる	2 誇らしく思える	3 自分らしくいられる	4 安全で安心できる
<p>10年後の暮らし</p> <p>多くの選択肢から選べる喜び</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>選択肢を幅や工夫の投資</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>コミュニケーションの発展</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>社会的なコミュニケーションの価値向上</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>災害が起きても安心して避難性ができる。</p> <p>災害の多い北陸圏を安全に暮らす</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>お金をかけても防災対策をする。必要時避難員を支援する。</p> <p>産官学の連携</p> <p>北陸に合ったインフラ整備(自動運転車)</p> <p>人 → 環境</p>
5 楽しくわくわくできる♡	6 希望を持って暮らせる	7 助け合える	8 互いを尊重できる
<p>10年後の暮らし</p> <p>プライベートの充実</p> <p>子どもが会えない遊ばない場所をつくさん</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>交通網の発達・開発事業</p> <p>空き地を有効利用する。</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>子育てが子育て不安のない暮らし</p> <p>働く者が安心して暮らせる</p> <p>北陸圏で仕事をしている(前向きな)</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>子育て支援(補助金)</p> <p>子育て支援制度を充実させる。その地域で子育てしやすい環境づくり。</p> <p>北陸エリアへの企業誘致</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>コミュニケーションの後継者育成</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>コミュニケーションの後継者育成サポート</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>自分の考えを伝える環境になる</p> <p>偏見のない世界</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>家へ帰る場で、見守り体制を整える必要がある。</p> <p>お年寄りへの対応の考えを議論する。</p>

※福井県坂井市「課題解決型地域づくりのためのwell-being8指標」をもとに作成。

ワーク結果③: 10年後の北陸圏を考える

■ ワークの結果 (各グループのワーク結果(模造紙))

グループE

●ワークシート2 (10年後の暮らしから北陸圏広域地方計画を考える) グループ E

1 自己実現できる	2 誇らしく思える	3 自分らしくいられる	4 安全で安心できる
<p>10年後の暮らし</p> <p>日本を代表する北陸企業 舞台の多い地域</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>他の方に北陸いいと言ってもらえる 好きなものを好きといえる</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>好きなものは文化や自然だけでなく、産業的なものを活かす</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>100点を満たすためのまち!</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>全員参加の防災計画 雨・雪対策</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p>
<p>5 楽しくわくわくできる</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>片町や鳥居があとにまで残る どこでも好きな場所に聞かなくていい 仕事・家族友人と充実した関係性</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>交流促進 飲食店や人・人同士の若 家族や子どもの教育や暮らしを支える施策 テーマパーク</p>	<p>希望を持って暮らせる</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>自分の望む生活水準を実現できるだけの資産を保有する おいご飯が食べられる 自然を活用した森林水産物の更なる発展</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>お金の重要性が分かるセミナーを実施する(子ども向け)</p> <p>観光地化 都市化しても住んで暮らしたい</p> <p>ワークショップ、推進(高校生とも)</p>	<p>7 助け合える</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>一人一人が主体的な幸せを感じる 町の未来を話し合う機会たくさん 身近な関係性 助け合うことで心もつながる 自然環境がよくなる</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>助けが 必要なのは 可視化。</p>	<p>8 互いを尊重できる</p> <p>10年後の暮らし</p> <p>ライフステージに やさしいまち</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p>

※福井県坂井市「課題解決型地域づくりのためのwell-being8指標」をもとに作成

ワーク結果③: 10年後の北陸圏を考える

■ ワークの結果 (各グループのワーク結果(模造紙))

グループF

● ワークシート2 (10年後の暮らしから北陸圏広域地方計画を考える) グループ F

1 自己実現できる	2 誇らしく思える	3 自分らしくいられる	4 安全で安心できる
<p>10年後の暮らし</p> <p>多様な道路の受け皿</p> <p>都市部へ出やすい</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>稼いぶのBoe. 住み方</p> <p>高速かつ安価な交通手段</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>他の地域よりも豊か</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>魅力の発掘と発信</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>安定した雇用</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>ITワークの解を活用した居住計画</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>地震が怖い</p> <p>防災・防災意識の高</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>防災最大の御座設備 防災への取組</p> <p>地震対応を早急</p>
5 楽しくわくわくできる	6 希望を持って暮らせる	7 助け合える	8 互いを尊重できる
<p>10年後の暮らし</p> <p>街の発展が目に見えてい</p> <p>趣味をみつけたい</p> <p>自主運営のまちづくり</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>都市開発や観光資源の活用</p> <p>施設ラット変改</p> <p>イベントやコミュニティ推進</p> <p>インフラ整備</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>家族との生活</p> <p>金銭的な不安がない</p> <p>地域に住み続けたい社会</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p> <p>自治体による経済支援</p> <p>産業の発展と新たな起業</p> <p>小中高大の教育機関の連携</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p>	<p>10年後の暮らし</p> <p>北陸圏広域地方計画への提案</p>

※福井県坂井市「課題解決型地域づくりのためのwell-being8指標」をもとに作成。

ワーク結果③：10年後の北陸圏を考える

■ ワークの結果（北陸圏広域地方計画への提案(一例)）

▶ 属性別(出身地・在住地)における提案の特徴

[北陸出身・圏外在住] 圏外流出を抑制する上で、教育の充実の必要性を感じた提案

[北陸出身・北陸在住] 多様な働き方や、被災経験による防災・減災の必要性を感じた提案

[圏外出身・北陸在住] 圏外と比較し、北陸圏の交通利便性やまちなかの魅力向上の必要性を感じた提案

グループA（北陸出身・圏外在住）

- 多様な価値観を受け入れるための教育の充実などによる意識の醸成
- 行政等による計画策定における委員会・協議会への若者の積極的な登用

グループB・C・D（北陸出身・北陸在住）

- 起業など新しいチャレンジに対する寛容性
- あらゆる関係者が連携した防災・減災対策の推進

グループE・F（圏外出身・北陸在住）

- 利用しやすい交通サービスの提供
- 若者がまちなかに集う商業施設の誘致や既存市街地の再編など中心市街地の魅力向上

参加された若者からの感想

■ ほくりくダイアログ2024に参加して変化した気持ちや考え(一例)

※感想の原文

北陸出身・圏外在住の参加者

- 今、北陸に住んでいる人も、そうじゃない人も、求めていることが近いことが分かった。
- 北陸に残る人達は、保守的であったり向上心が弱い部分があると思っていたが、地域のために行動を起こされている方や、高い志を持って動かれている方がたくさんいることに気づいた。

北陸出身・北陸在住の参加者

- 北陸の良さは主に自然だと思っていたが、人のあたたかみなど自分の意識できていない部分に気づくことができた。
- 北陸のことを考えるにあたって、北陸の人だけで考えてもダメだと感じた。

圏外出身・北陸在住の参加者

- 若者も都会と比べてしまって北陸に対して否定的になっているのではなく、なんとかしたいという思いがあると分かった。

参加された有識者からの総括

〔柳原委員〕 北陸圏の継続的な社会的課題に対して、一人でできなくても少しずつ変えるために行政の計画に盛り込んでいくことが重要。

〔堀田委員〕 社会・組織・個人のそれぞれにできることがあるので、このような機会を通じて、また皆さんと共に考えていきたい。

〔高山座長〕 今日の話し合いはSWOT分析になっている。北陸の強み（ポジティブ）と弱み（ネガティブ）を今後のまちづくりにどう活かすかが重要。今後10年間で、多様性のある選択肢が多いまちづくりが重要。

